

持続可能な自殺対策の構築 -自殺対策基本法20周年に向けて

Building Sustainable Suicide Prevention: Toward the 20th Anniversary of the Basic Act on Suicide Prevention

趣旨：地域における自殺対策は2006年の自殺対策基本法と基金事業などによって急速に普及した。2016年に自殺対策基本法は改正され、自治体は自殺対策についての計画を定めることとなり、2017年の自殺総合対策大綱の改定では「地域レベルの実践的な取組をPDCAサイクルを通じて推進する」と謳われた。これらを踏まえ、自治体においては計画を定めているが、計画づくりに追われ、実際の取り組みには難渋しているところも少なくない。

この研究集会は、自殺対策基本法に挙げられている基本的施策を踏まえ、国または自治体レベルでのこれまでの達成をまとめ、自殺対策基本法20年後に取り組むべき課題を明らかにすること、さらにその課題を社会課題解決型の研究・活動として提案にまとめることを目的とする。

本研究集会は、第47回日本自殺予防学会総会のワークショップ「自殺対策の振り返りとこれから－自殺対策基本法20年に向けて」、一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター（CSPSS）の研修や会議等と連携して実施する。

2023年12月1日(金)-12月2日(土)

東京大学工学部2号館展示室 / ウェブ参加可

東京都文京区7-3-1 東京大学 本郷キャンパス

定員：現地参加50名、オンライン100名（先着）

参加申込は
こちらから



プログラム

12/1(金)

9:00～9:30 基調講演「開会にあたってーこころのかよう自殺対策」

竹島正（川崎市総合リハビリテーション推進センター）

9:30～12:30 セッション1「自殺の実態分析と自治体における活用」

趣旨：研究と行政が連携して取り組む事例の紹介と今後の課題、現場における公的統計データの活用とそのニーズ、現行制度や政策の見直しなどに関する報告や提言を共有し、議論する機会とする。

企画：高橋邦彦（東京医科歯科大学）、岡檀（統計数理研究所）

座長：高橋邦彦、岡檀

9:30～9:55 「青森県における自治体との連携経験から」 大山博史（青森県立保健大学）

9:55～10:20 「熊本県における自治体との連携経験から」 藤瀬昇（熊本大学）

10:20～10:45 「感応道交：心理学的剖検の再起動にむけて」 齊尾武郎（フジ虎ノ門整形外科病院）

10:45～11:10 「疫学的アプローチによる全国規模の地域比較の活用」 立森久照（慶應義塾大学）

11:10～11:35 「自殺統計活用の問題点」 山内貴史（東京慈恵会医科大学）

11:35～11:45 休憩

11:45～12:30 パネルディカッションとまとめ 登壇者及び辻本哲士（滋賀県精神保健福祉センター）

- 休憩 -

13:30～15:30 セッション2「医療提供体制と自殺未遂者支援」

趣旨：医療提供体制整備の経緯を説明するとともに、自殺未遂者等支援拠点医療機関と診療報酬加算のない医療機関における取り組みを紹介する。

企画：高井美智子（埼玉医科大学）、太刀川弘和（筑波大学）

座長：太刀川弘和、高井美智子

13:30～14:30 「医療提供体制整備の経緯」 太刀川弘和

14:30～15:00 「自殺未遂者等支援拠点医療機関における取り組み」 松尾真裕子（筑波大学附属病院）

15:00～15:25 「診療報酬加算のない医療機関における取り組み」 高井美智子

15:25～15:30 まとめ・今後の課題 太刀川弘和

15:30～17:30 セッション3「子ども・若者の自殺対策」

趣旨：若年層の自殺は横ばいもしくは増加が続く中、わが国で展開されてきた子ども・若者対策の中心的な取組を総括するとともに、今後の対策や研究の方向性について議論を深める。

企画：勝又陽太郎（東京都立大学）、大塚尚（東京大学）

座長：勝又陽太郎、大塚尚

15:30～15:55 「自殺予防教育を中心とした学校における対策」 高橋聡美（高橋聡美研究所）

15:55～16:20 「ICTを活用した対策：これまでにできたこととできなかったこと、そして今後の展開」 末木新（和光大学）

16:20～16:45 「子ども・若者の孤独・孤立に対する地域支援」 根本隆洋（東邦大学）

16:45～17:10 「こどもコホートスタディ」 岡檀（統計数理研究所）

17:10～17:30 ディスカッションとまとめ

17:30～18:00 講演「QualityとHealthを基盤に置くサービスエクセレンス」

水流聡子（東京大学総括プロジェクト機構総括寄付講座教授）

12/2(土)

9:00～11:00 セッション4「人材育成と啓発」

趣旨：対人援助専門職を目指す学生、第一線で活躍する専門職、いのちの電話相談員の育成について報告し、人材育成と啓発の課題と展望を議論する。

企画：小高真美（武蔵野大学）、川島義高（明治大学）

座長：小高真美、川島義高

9:00～9:25 「ソーシャルワーカー養成課程における教育導入の試みと課題」 小高真美

9:25～9:45 「多職種連携教育（IPE）」 川島義高

9:45～10:15 「スクールカウンセラーの人材育成」 窪田由紀（九州産業大学）

10:15～10:45 「いのちの電話相談員の人材育成」 末松渉（東京いのちの電話）

10:45～11:00 ディスカッションとまとめ

11:00～13:00 セッション5「当事者と協働した対策や研究の模索」

趣旨：自死遺族への支援に加えて、今後のわが国における自死対策や調査研究を発展させていくうえで、行政や研究者が自死遺族の協働について検討を行う。

企画：勝又陽太郎（東京都立大学）、田中幸子（全国自死遺族連絡会）

座長：勝又陽太郎、齋藤智恵子（全国自死遺族連絡会）

11:00～11:30 「自死遺族が対策や研究に望むこと」 田中幸子・齋藤智恵子

11:30～12:00 「自治体における自助グループの立ち上げ」 三浦由佳（徳島県精神保健福祉センター）

12:00～12:30 「自死遺族と協働した調査研究の実施」 岡本洋子（熊本学園大学）

12:30～13:00 ディスカッションとまとめ

-休憩-

14:00～16:00 セッション6「自殺対策の評価」

趣旨：自治体の自殺対策の取組、計画づくりとその評価について、現状と課題を検討する。

企画：南島和久（龍谷大学）、橋本貢河（川崎市総合リハビリテーション推進センター）

座長：南島和久

14:00～14:30 「自殺対策の評価」 南島和久

14:30～15:00 「川崎市における自殺対策計画と評価」 橋本貢河

15:00～15:30 「都市自治体の自殺対策のあり方に関する調査研究について」

佐々木伸（公益財団法人日本都市センター）

15:30～16:00 ディスカッションとまとめ

16:00～17:00 セッション7「円卓会議－こころのかよう自殺対策」

企画：竹島正（川崎市総合リハビリテーション推進センター）

趣旨：自殺・自死に関するスティグマを含めた長期的課題を含め、自殺対策基本法やそれに基づく課題の達成と今後の課題を話し合い、今後取り組むことを研究と実践の双方から明らかにしていく。

16:00～16:15 「自殺対策の地域力を考える」 竹島正

16:15～16:30 「宗教者の立場から自殺対策に望むこと」 小川有閑（蓮宝寺/大正大学）

16:30～17:00 会場参加者による話し合い

17:00～17:30 総括講演「社会課題解決型の研究と実際の取り組みをつなぐ」

椿広計（統計数理研究所）

2023年度 統計数理研究所 共同研究集会（課題番号：2023-ISMCRP-5004）

持続可能な自殺対策の構築 -自殺対策基本法20周年に向けて

Building Sustainable Suicide Prevention: Toward the 20th Anniversary of the Basic Act on Suicide Prevention

共 催：東京大学「QualityとHealthを基盤に置くサービスエクセレンス」総括寄付講座

協 力：一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター（CSPSS）
一般社団法人全国自死遺族連絡会
一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会
全国精神保健福祉センター長会

企画委員：大塚 尚（東京大学相談支援研究開発センター）
岡 檀（統計数理研究所）
勝又陽太郎（東京都立大学人文社会学部）
小高 真美（武蔵野大学人間科学部）
高井美智子（埼玉医科大学医学部）
高橋 邦彦（東京医科歯科大学M&D データ科学センター）
竹島 正（川崎市総合リハビリテーション推進センター／大正大学地域構想研究所：研究代表者）
樺 広計（統計数理研究所：受入研究者）

この研究集会についてのお問い合わせは事務局にお願いします。
cspss.research.2023@gmail.com